

校長先生・環境教育のご担当先生にお渡しください

循環のみち下水道

環境教育助成金のご案内



下水道分野の環境教育に取り組む学校に対して、最大10万円まで助成します

申請期間：2025年4月1日～5月14日

お問合せ先

循環のみち下水道環境教育支援協議会事務局

(公益社団法人日本下水道協会 企画部広報課内)

東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル6階

TEL：03-6206-9585 FAX：03-6206-0796

E-mail：kankyo-kyoiku@21stgesui.jp



「21世紀の下水道を考える会」協議会



募集要項

1. 助成対象団体

国内の小中学校、教科研究会等

2. 助成対象分野

下水道分野の環境教育の推進に係る取り組みであれば、自由にご提案いただくことができます。

- (例) ・「みんなの循環のみち下水道環境教育ポータルサイト」の学習指導案を使った授業の実施に係る経費
・上記の授業を実施するために必要な下水処理場の見学や教員への研修に係る経費

3. 助成金額

1団体につき上限10万円

ただし、応募多数の場合は予算の範囲内で助成いたします。

4. 申請手順

「教育支援を受ける」
にアクセス

- ①「みんなの循環のみち下水道環境教育ポータルサイト」内、「教育支援を受ける」にアクセスしてください。

URL <https://www.21stgesui.jp/kankyo-kyoiku/support/>



助成金申請書の
ダウンロード

- ②以下をダウンロードしてください。

- ・「助成金申請書 (Word)」
- ・「銀行振込先連絡票」
- ・「申請書提出のためのチェックシート」

必要事項の入力

- ③「募集要項」と「循環のみち下水道環境教育助成金審査基準」をよくお読みの上、「助成金申請書」「銀行振込先連絡票」に必要事項を記入してください。「銀行振込先連絡票」は、6月中旬の審査委員会で助成が決定した場合のみ、その情報を使用します。

申請書送付

- ④「申請書提出のためのチェックシート」を確認し、提出の準備が完了した後に、「助成金申請書」「銀行振込先連絡票」、「申請書提出のためのチェックシート」をEメールにて「循環のみち下水道環境教育支援協議会」事務局までお送りください。

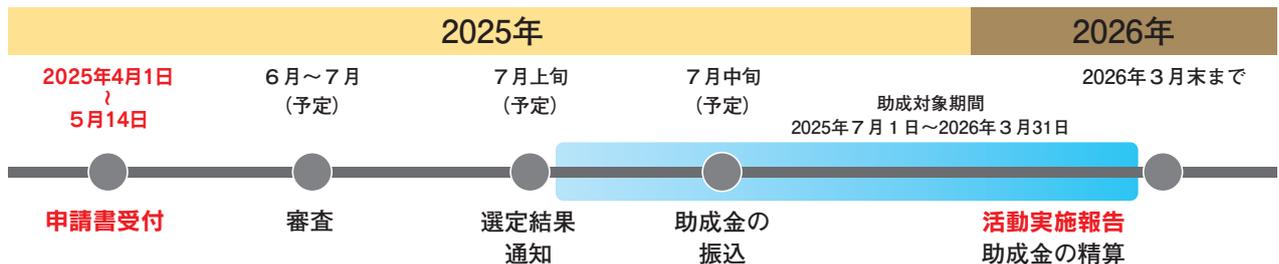
E-mail kankyo-kyoiku@21stgesui.jp

申込完了

申込締切日 2025年5月14日 (水) ※締切厳守

- ⑤お申込完了です。審査結果は7月上旬に通知いたします。

5. 助成の流れ



6. 審査方法

- ・審査会にて「循環のみち下水道環境教育助成金審査基準」をもとに助成の有無や助成金額を決定いたします。
- ・採否の通知は、決定後速やかに全申請者に直接通知いたします。
- ・採否の理由に関するお問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。
- ・ご提出いただいた申請書は返却いたしませんのでご了承ください。

7. その他

過去の助成例は、「みんなの循環のみち下水道環境教育ポータルサイト」内、「活用事例を見る」に資料が公開されていますのでご参照ください。

循環のみち下水道環境教育助成金審査基準

	項目	説明	評価のポイント
①	目的	下水道を理解する取り組みになっているか	下水道の役割や仕組み、自分たちの暮らしとの関係を理解する目的になっている。 (目的：まちを清潔にする、まちを浸水から守る、身近な環境を守る、資源・エネルギー利用)
②	授業内容	下水道に係る授業内容が明確か	・下水道の環境教育に係る授業の内容が具体的で明確である（河川水質・生物など下水道の効果に関する内容も、下水道との関係が授業内容にあれば含む）。 ※下水道に関係のない授業内容は助成対象外です。 ・授業の内容が実現性の高いものになっている。 (施設見学の場合) ・下水道処理場の見学が予定されている（同日に下水道処理場以外の施設見学も行うことは可能）。 ・見学予定の施設名（下水道処理場名）と時期が記載されている。 (出前授業を含む場合) ・テーマ（内容）、講師名が具体的に記載されている。
③	使途	目的に対して適切か	本年度の下水道の環境教育授業に直接必要な経費であることが具体的に記載されている。
④	申請金額	申請金額が妥当か	・申請金額が予算内（10万円以内）に収まっている。 ・汎用性のある高額な機材を含む場合は原則1台かつ1万円以内に収まっている。 ・消耗品（文具、実験用ビーカー等）は本年度の活動に必要な購入数、費用等の内訳が具体的に記載されている。 (施設見学等でバス代を申請される場合) ・見積が添付されている（もしくは行程表が含まれている）。
⑤	全体の内容・熱意	熱意のこもった内容となっているか	・助成金を利用することで、下水道の環境教育がより効果的に実施できることが伝わる内容になっている。 ・授業実施における意気込みが添えられており、熱意のこもった内容になっている。

注) 申請書を事前に事務局にて確認し、申請内容の不備や不明瞭な点、具体的な記載がないものについては基本的に不採用になります。また申請書を審査会前に再提出いただく場合もあります。

結果の通知

2025年6月に開催する審査会終了後、7月上旬を目途に、採否にかかわらずメールをもって結果をお知らせいたします。

助成決定後

1. 助成金の交付

助成決定校には原則として7月中旬ごろに助成金が振り込まれる予定です。

2. 助成金の成果報告

環境教育学習終了後、以下の報告書類を概ね2か月以内を目途にご提出いただきます。

- ・利用報告書（A4用紙2枚程度、添付資料も可）
- ・費用明細書／領収書
- ・利用アンケート

（2026年3月末日までに届かない場合は、不提出として全額返金となります。）

3. その他

助成金の使途が申請書の活動内容と異なった場合・交付決定に違反すると認められた時、計画していた活動ができなくなった時は、助成金の全額または一部を返金いただきます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

助成校活用事例

小学校・中学校における下水道分野の環境教育についての各種取り組みに関する事例をご紹介します。



下水処理場の見学

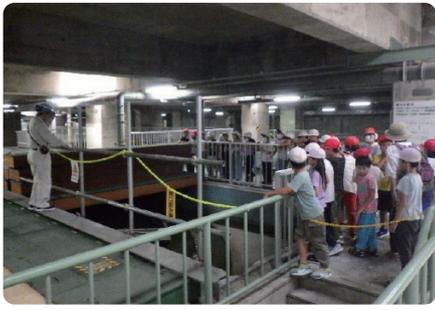
松本市立源池小学校（長野県）

使い終わった水が汚れていること、その水が微生物やろ過の力できれいにされ、最終的に川に戻るところを、目で見て学習することができた。

浄化センターで働く人々の苦労や努力が直接感じることでできる機会となった。

学年・教科：4年 社会

助成金額：100,000円



下水道の出前授業 および副教材の購入

東松島市立矢本西小学校（宮城県）

災害時などに使用できるマンホールトイレの仕組みについて市役所職員を招いて学習したほか、自分たちが使っている水が循環していることを民間企業の担当者を招いて学習した。災害に関連した小冊子等を購入し、副教材として学習に役立てることができた。

学年・教科：4年 社会

助成金額：100,000円



下水道の 出前教室の様子

札幌市立北光小学校（北海道）

下水道が川の水質を守り、生態系を維持する重要なインフラであることを認識するとともに、身近な水の使い方が環境に与える影響についても知り、自分たちにもできることがあると実感したことで、環境保全のため自分に何ができるかを考えるきっかけとなった。

学年・教科：4年 社会

助成金額：56,435円



助成校 からの 声

下水道の仕組みに関する理解促進には大変良い制度であると思われる。今後も継続していただきたい。

本制度は校外学習の幅を広げてくれるという点で、大変素晴らしいと思います。施設での学習に加え、事前・事後の学習を充実させることで、学習の効果を得ることができました。

活動に関して、試薬や備品を購入させていただけること。学校外の講師の先生にお願いできることなど、子どもの個人負担にならないで活動ができることで、活動が広がっております。

油をそのまま流すと、オイルボールができて下水が流れにくくなることや、雨水ますに土や葉っぱ、ごみなどを入れるとよくないことなど、やってはいけないことが明確にわかり、日常生活に生かそうとする姿が見られました。

学区外にある浄化センター施設を見学するには徒歩での移動は難しいが、この制度で貸し切りバスを利用でき、子どもたちが実際に見学することが可能となった。

補助金の用途が幅広いので、気軽に利用しやすい。本校はバス代で消耗したが、文具や教材の購入まで認めていただいているのはありがたい。

新聞にまとめる活動を通して、友だちと自分の意見を比較して違いを見つけ、日本の下水処理場のよさに気づくことができました。じっくりと課題と向き合う時間があり、学びを深めることができました。

「みんなの循環のみち下水道環境教育ポータルサイト」

学習指導案（小学校の新学習指導要領に準拠）、教育素材、地方公共団体の教育素材リンク、下水道環境教育ネットワーク

URL : <https://www.21stgesui.jp/kankyo-kyoiku/index.html>

